

後序セミ

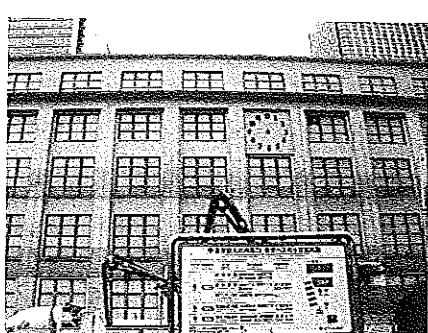
# 「Walk Rally」レポート

10N1001

相田俊

今回の Walk Rally では、銀座・丸の内を歩きました。

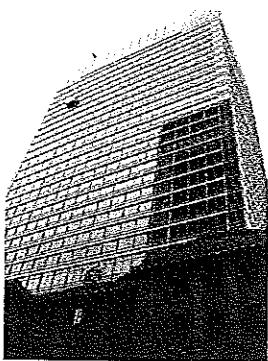
最初に丸の内を歩き、東京中央郵便局や明治生命館などの古い建物や、日本工業俱楽部会館や大手町野村ビル、DN タワー21などの増築をした建物を見学しました。



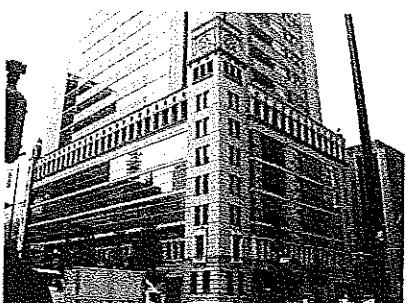
東京中央郵便局



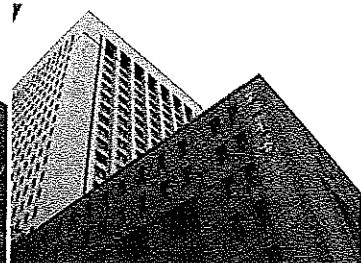
明治生命館



日本工業俱楽部会館



大手町野村ビル

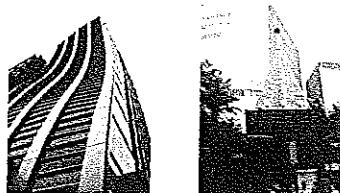


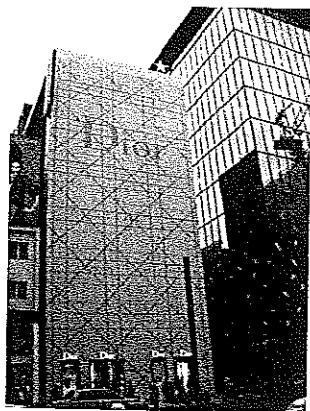
DN タワー21

増築された建築は、大手町野村ビルのような元の建築のデザインと増築部分のデザインが同一の建築と、日本工業俱楽部会館のような元のデザインとは全く逆の対比された建築とがありました。

東京中央郵便局と東京駅は工事中でした。

次に歩いたのは、銀座です。銀座の建築は本当にさまざまなデザインの建築が多くありました。特に形に特徴がありました。





銀座の建築はとても刺激的なデザインのものが多く、とても勉強になりました。また、丹下健三さんや菊竹清訓さん、伊東豊雄さんなどの建築家を知ることができました。

これからデザインスタジオなどでとても参考にできる建築を見ることができたと思います。

またいつか参考にするために銀座や丸の内に行ってみようと思います。

## 導入ゼミ：ウォークラリー

### 510グループ 導入ゼミ：丸の内・銀座コース

#### 丸の内コース

東京中央郵便局、明治安田生命ビル、国際ビル、帝国劇場、そのほか様々なオフィスに行った。

丸の内では古い時代の建造物を残したまま増築している保存建築の建物が多かった。私が特に心に残っている建造物は明治生命館である。外壁から非常に細かく作られていて今の時代では考えられないと思った。さらに、内装も外壁に負けないほどの美しさだった。今回はゆっくり見学することができなかつたので日曜日の時間のあるときにまた見学に行きたいと思った。

そして、東京中央郵便局の建物は窓の大きさが上の階に行くにつれて小さくなっていることを知った。今回、東京中央郵便局は一部取り壊されていて残念だったがその分今度にできる建物に期待したいと思う。

#### 銀座コース

銀座ではグッチ、フェラガモ、ディオール、シャネル、エルメスなど高級ブランド店が立ち並んでいた。

どれもデザインに工夫を凝らしていて面白かった。とくにフェラガモは外観でフェラガモレッドのボックスに白いリボンを結んだラッピングボックスをイメージして、「箱を開けるときの期待感」を表現しているところは遊びがあってとても面白いと思った。さらに、ユニクロやマツモトキヨシでは銀座の景観に配慮してそれぞれのお店のカラーを抑えて作られていた。銀座の街並みはきらびやかで、華やかだった。まるで、建物ひとつひとつが街を作り出しているかのようだった。

夜の銀座の街並みは昼間とはまた違うと思うので、機会があれば行ってみたいと思う。

いつか自分も銀座で買い物ができるようなビッグな人間になれるように頑張りたいと思う。

# ウォークラリーのレポート

10N1003 新井康太

東京国際フォーラムに集合して、丸の内と銀座の有名な建物を見てまわった。コースとしてまわった中でも、24軒の建物をみた。そのほかにもいろいろな建物、町並みを見ることができた。なによりその場所特有の雰囲気を知れた。

丸の内と銀座だけを比べてもその場の雰囲気や歩いてる人の服装がちがっていて、こんなに近いのにこうも顕著にちがいがあることに驚いた。

あと思ったことは東京には緑が多いことである。皇居の周りなどは特に緑に囲まれて歩いていて気持ちがよかったです。

このウォークラリーの中で一番印象に残っているのは明治生命館である。明治生命館は、東京都千代田区丸の内二丁目にある、鉄骨鉄筋コンクリート造、地上8階、地下2階のビル。1934年（昭和9年）竣工。国の重要文化財に指定される歴史的建造物であると同時に明治安田生命保険の本社ビルとして現役利用されている。現在、明治安田ビルマネジメントが管理している。設計は岡田信一郎・捷五郎（兄弟）、構造設計が内藤多仲。施工は竹中工務店である。

丸の内には自分にとっては意外なことであったが歴史のありそうな建築がいくつもあり、明治生命館も歴史と風格を感じた。

外側にある柱のようなものが特徴的だった。



## 銀座・丸の内のウォークラリーを終えて

10N1004 李シヒヨン  
グレーフスル後藤セミ

丸の内で印象的だったことは近代の建築がかなり多く残っていて、その建築を増築した建物もあるということだ。100年も過ぎた建物の上に増築をするなどの話はあまり聞いたことのなかったので面白い話だと思った。私の見聞が狭いせいかも知らないが韓国では昔の建物の上に増築でビルを建てたという話はあまり聞いてない。

日本工業俱楽部会館は色のせいか似合わないと思ったが大手町野村ビルはそうでもなくて事前に増築だと聞いてなかつたら分からなかつたと思う。日本工業俱楽部会館の場合に外から見て色がはっきり分かるほど違うからその違いが中でどのように表れているかが気になったが入ることはできなくて少し惜しい気がする。

他に丸の内で印象的だったのは明治生命館の中だった。時間が足りなくてホールしか見ることができなかつたがその洗練された高級感は忘れない。明治生命館が建てられた当時の最新の技術が使われたということに納得できる雰囲気を持っていた。

東京国際フォーラムを中心として銀座方面に向かうと丸の内とは違って現代の個性的な建物が並んでいた。その中でも LOUIS VUITTON、CHANEL、グッチ、エルメスなどの名前を聞くだけで誰もが知っている店が揃っていて銀座がどのような場所かを見せてくれるようだった。建物の中に店だけではなくホールを持つことでいろいろな用途で使ったり壁面にLEDを利用した広告に利用したりするのは空間の使い方について考えさせてくれた。

ニコラス・G・ハイエッグ・センターという名前のブランド時計屋には奇妙な形のエレベーターがあった。それはショールームの形をとったもので未来風のエレベーターというイメージを受けた。

他にも独特な形の建物が多く、その中では一見平凡に見えるユニクロがあったがそこには裏話があった。本来は建物の色を赤くすることでユニクロのロゴのイメージを活用しようとしていたらしいがそれが銀座の全体的な景観の雰囲気に合わないと理由で計画が無になったという。東京銀座資生堂ビルも赤い色で、他にも赤い色の建物があることを考えたら本来の完成図を見てみたいと思った。

またグッチ銀座店の近くにあるマツモトキヨシの店の看板も普通ではなくて面白いと思った。普通のイメージ色の黄色と青ではなく白に黒い文字を使った形になっていて同じ店なのに色だけで違ライメージを与えることもできるということから色が持つイメージの影響力について少し考えることができた。

丸の内と銀座という正反対のイメージの街と一緒に見て色々考えものを得たような気がする。銀座と言って現代の建物ばかりでもなく、また丸の内と言って近代の建物ばかりでもない。時代の流れを繋ぐように近代と現代の建物が混ざっていることから日本の近代

から現代への変化を少し覗くことができた気がする。今はただの感じに過ぎないこの感覚をどのように生かすかが今度のウォークラリーで私に与えられた本当の課題だと思う。

# ウォークラリーレポート

10n1005 飯田勇人

自分は埼玉県出身なので、東京にはあまりなじみがありませんし、東京の地理についてもほとんど無知に近いです。今回のウォークラリーで丸の内・銀座エリアをじっくり歩きまわることができてよかったです。

丸の内エリアには、だれもが名前を聞いたことがあるような企業のビルや、建築物がたくさんありました。しかしビルだけではなく、縁がたくさんあったので、近代的なビルや、一昔前のモダニズム建築、さらに自然とが共存している地域だと感じました。

まずは東京駅です。自分が東京駅に行ったのはおそらく小学生以来でしたが、工事中のため、外観をしっかりと見ることはできませんでした。かつて3階建てだったので今回の改修で3階建てに直すとのことでした。「関東の駅百選」にも選ばれている駅で、大変すばらしい建築物なので、改修が終わったら改めて行ってみようと思います。その他の建築物で、印象に残っているのは日本工業俱楽部会館と大手町野村ビルです。どちらの建築も過去に建てられた部分をベースに、さらに上にビルを付けくわえたものでした。おもしろいとおもったのが、この2つの建築物で対照的だった付け加えてあるビル部分の建築様式です。日本工業俱楽部会館は旧式の建築の上に近代的なガラス張りのビル、大手町野村ビルはベースの部分に合わせてつくられていて、どこからが付け加えた部分なのかわからないくらいでした。自分としては大手町野村ビルのほうがいい建築物だと思いました。

銀座エリアは、とにかく有名ブランドの直営店がたくさんあった印象が強いです。それぞれのビルがそれぞれの個性を発揮していて、奇抜で目を引くデザインのビルが数多く見られました。自分が一番好きだったのはエルメスのビルのデザインです。無数のガラスで覆われたビルは他の建築とは違う迫力がありました。今回は昼間でしたが、夜のライトアップされた銀座も一度は見ておくべきだと思いました。

今回のウォークラリーで、今まで普段はあまり意識していなかった街の建築物への意識が少し変わりました。東京のほかの場所を訪れたときには、自分は建築を学んでいるんだ、という意識を持って都市の景観を見て歩いてみようと思います。

# W a l k R a l l y 2 0 1 0

1 0 N 1 0 0 6 家永 和幸

私はWalk Ralllyをしてみて凄くいい経験になりました。それは何故かと言うと、いろいろな建物を見る事ができたからです。1番印象に残ったのは、銀座四丁目の交番です。交番なのに外観はガラス張りになっていて、ドアのところは赤で縁取りされていて、凄くお洒落だと思いました。ここまで交番をお洒落にしなくてもいいのではないかとも思いました。

ほかにもいろいろな建造物がありました。例えば、ユニクロやサルヴァトーレ・フェラガモやニコラス・G・ハイエック・センターなどがあり、それらは物凄く銀座の雰囲気についているし、高級間があふれていてとても私ではこのようなところには行けないと思ったけれど、いつかは必ず行けるような人になりたいです。そして銀座は怖いところだと思いました。

# 銀座・丸の内ウォークラリーレポート

10N1007 石井啓介

今回、銀座・丸の内を中心に東京を観てまわってみてとても楽しく勉強になることばかりでした。

とくに興味を持ったのが銀座にあったユニクロやマツモトキヨシの建物です。誰もが知っているとおりユニクロのブランドカラーは赤です。しかし銀座に建てられているユニクロは白を主としたデザインになっていました。

もともとは赤を基調とした建築計画だったそうなんですが銀座の誘導型地区計画により白を基調としたシックな装いとなっていました。

自分自身の印象としては高級感がありとてもお洒落だと思いました。

これと同じようにマツモトキヨシも本来は黄色がブランドカラーですが銀座店では白を基調としたデザインになっていました。

これらのどちらも銀座の住民たちが決めた景観ルールによるものです。景観法とは日本の都市、農山漁村等における良好な景観の形成を促進するため、景観計画の策定その他の施策を総合的に講ずることにより、美しく風格のある国土の形成、潤いのある豊かな生活環境の創造及び個性的で活力ある地域社会の実現を図り、もって国民生活の向上並びに国民経済及び地域社会の健全な発展に寄与することを目的とするものです。

今回ウォークラリーに参加してみてもっともっと建築、デザインについて学びたいと思いました。

## ウォークラリーレポート

10N1008 石井静香

私たち510グループは、銀座・丸の内を歩きました。

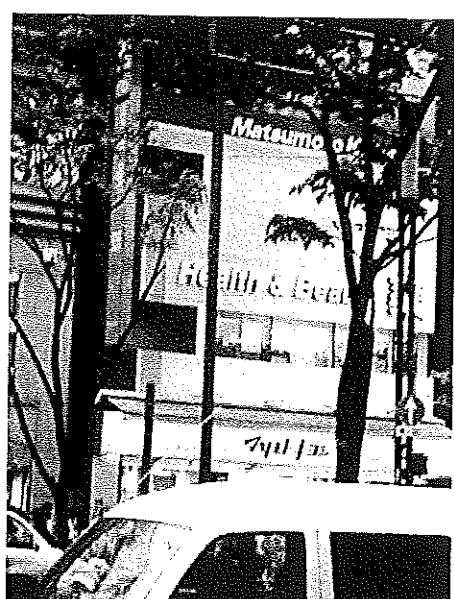
銀座ではあの一直線のなかに様々な店があり、おもしろかったです。

CHANEL、グッチ、エルメスなどの高級ブランド店が並んでいましたが、それらの店に多く共通するのがLEDライトでした。透明なガラスの中にLEDライトを入れているものが多く、夜になると昼とは違う美しさを見ることができます。

また、銀座の街並みを揃えるということで、黄色がイメージカラーのマツモトキヨシが白基調となっていましたり、赤がイメージカラーのユニクロも建物が白基調になっていたりしておもしろかったです。



GUCCI



マツモトキヨシ

次に丸の内ですが、銀座とは一変して煌びやかな雰囲気ではなく、落ち着いた雰囲気の建物が多かったです。

中でも私は大手町野村ビルが印象的でした。旧館の面影を留めながらの増設ですが、旧館のほうの建物がとても雰囲気があり、素敵でした。

このように町を散策してみるだけで、様々な種類の建物を見る能够で、これからは自分でも町の建物を見ながら歩くようにしたいです。

そしてそれを自分の発想に役立てることができたらいいと思いました。

## 導入ゼミウォークラリーに行って

導入ゼミ510グループ 10N1009 石川志織(後藤ゼミ)

導入ゼミ、最後のイベントとなるウォークラリーでは銀座、丸の内の街並みを歩いて見学しました。こうして銀座や丸の内の建築物を、説明を聞きながら回ることは初めてのことと、これから建築を学ぶ私にはとてもためになるイベントとなりました。その中で印象に残った建築物について書いていきたいと思います。

### 銀座

銀座はまず歩行者天国になっている道に驚き、渋谷とはまた違った人の多さに驚きました。全体的に表面的な美しさを意識した建物が多く、道を歩いているだけで建物の並びに見とれてしまうようでした。建物の調和もとれていて街全体がおしゃれで、その中を歩く人々も自然とおしゃれに見えたので将来、銀座で買い物が出来たらいいなと思いました。

#### I. 東京国際フォーラム

集合場所となっていた東京国際フォーラムは、中は天井が高くて、奥行きも広いので、ちょうど催し物をやっていましたが、たくさんの用途に使えそうな空間でした。またガラス棟の壁一面の窓はとてもきれいで、自然の光も多く入り開放的で落ち着いた雰囲気でした。ただ、場所を特定するのが難しいようなフロアだったので、迷子になりやすそうな気がしました。

#### II. LOUIS VUITTON GINZA

これは、大きな箱のようなビルで、2枚重ねの網戸が、透けていないのに透明感を出しているという印象でした。また夜になると光る、壁面に点在する正方形は、遠くからでも一目で分かるデザインだと思います。名古屋にもあるということなので、今度、こちらにも行ってみたいです。

#### III. OPAQUE GINZA

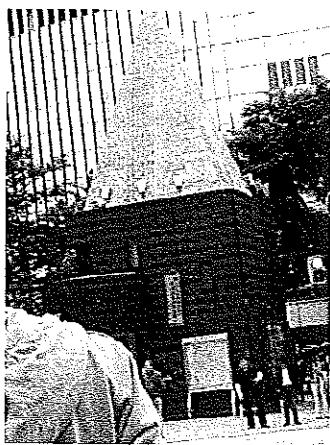
今話題の建築家・妹島和世さんが設計した建物は、箱ものが多いと聞いたことがあります。これもまさに、箱もの建築でした。外見は不透明なのに透明感があって、道を歩いている人の目線から店舗内が見えるというのは、良いデザインだと思います。よく調べると、2重になっているガラスは、透明度の異なるフィルムを使っていて、昼夜で使い道(見え方)が違うと聞いて驚きました。壁を2通りの使い方をするなんて、うまい設計だなと思います。ただ、昼間にはOPAQUEという店名がスクリーンに映っていないので、どんな店なのか、近付いて見ないと分からないという欠点はあると思います。



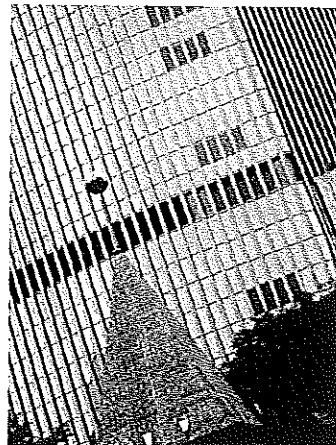
《OPAQUE GINZA(車道から)》

#### IV.数寄屋橋交番

こんなにかわいい交番は初めて見ました。ちょうどウォークラリーで前を通った時は歩行者天国の規制をしていて、銀座ならではの警官の仕事だと感じました。トンガリ屋根の先にあるアンテナみたいな棒が交番のサインみたいでした。



《数寄屋橋交番(歩道から)》



《数寄屋橋交番・屋根上部》

#### V.ユニクロ銀座

白を基調とした銀座ならではのユニクロ。壁一面に透明感を出していて、銀座の建物に共通するところがありました。夜は壁に埋め込まれたLEDを利用して、様々な模様を楽しめるということなので、夜にも行ってみたいです。他にも昼夜で楽しめるビルがあったので、銀座のビルに、やはり共通していると感じました。

#### VI.ニコラス・G・ハイエック・センター

初めて聞いたビルでした。そして、外から見ただけですが、ちょっとしたガーデンみたいな自然が、ビル内にあって、他のビルとは少し違った感じがありました。こちらにも、いつか買い物に来てみたいです。

## 丸の内

丸の内はまず工事中の東京駅と、東京中央郵便局が目に入り、銀座の華やかで栄えている雰囲気とは全く異なっているという印象を持ちました。全体的な建築に関していえば、歴史を感じさせる、趣のある建造物が多かったです。落ち着いている街が仕事の緊張感を持っているようでした。

### I. 東京駅

東京駅は、いつも駅の中を乗り換えるために通るだけで、外がどんな様子かを見たのは初めてでした。今は工事中で、来年にも建設当時の3階建ての駅に復旧する予定らしいので、楽しみです。こうして、昔の駅の姿に戻すことは大変な作業ですが、素晴らしいことだと思いました。

### II. 東京中央郵便局

郵政民営化に伴い、移転が決まり、旧庁舎は取り壊し（一部保存）ということになってしまった噂の郵便局です。旧庁舎の写真を見ると、確かにボロイし、耐震性も無さそうな印象を受けました。しかし、いろいろと歴史を調べていくうちに保存した方が良いようにも思いました。東京駅と同じくらいの頃に完成する予定なので、東京駅と他のビルとの調和がどんな風に出来上がるのか楽しみです。

### III. 大手町野村ビル

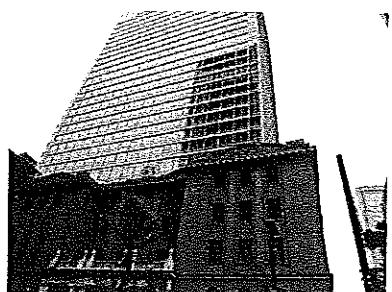
この建築は昔の建築をそのままに残し、上にビルを作り上げたという、現代ならではの建築でした。上のビルを隠してみると、再開発前の建築がどのようなものか分かり、建設当時は、とても低かったんだなと思いました。上と下のビルの調和もほどほどにとれていて、不自然には見えませんでした。



《大手町野村ビル（手前側）》

#### IV. 日本工業俱楽部会館

ぱっと見たとき、すぐに目に留まる建築でした。これも昔の建築の上にビルを建設したもので、大手町野村ビルとは違って、上と下の違いがはっきりと分かりました。調和が取れているのかは、分かりませんが、はっきり境界が分かるので、上のビルを隠して見ると下の建築だけを楽しむこともできました。中もどうやって上と下をつなげているのか気になるので、今度は中にも入ってみたいです。



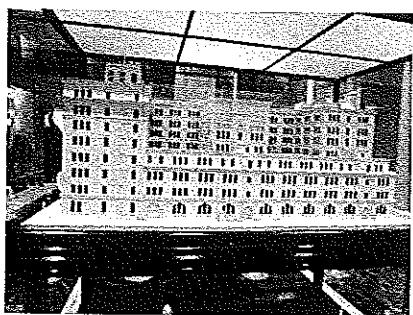
《日本興業俱楽部会館》

#### V. みずほコーポレート銀行

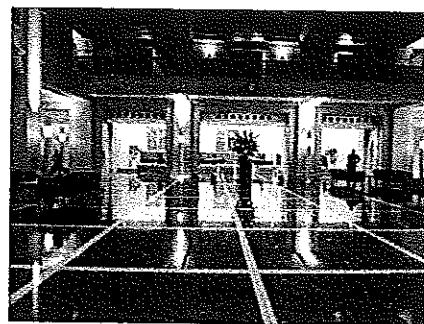
このビルは高層でしたが、やはり新しいというよりは、古いという印象の方が強かったです。入口にちょっとした庭があって、丸の内には自然があまりなかったので良いと思いました。形も普通ではなくて、大胆で鋭いという印象でした。

#### VI. 明治生命館

丸の内に建つ建築の中では、少し性質が異なる建築でした。古典主義様式といわれる通り、パルテノン神殿を思わせるような外観でした。調べていくと、何度も改修工事をしているようでしたが、全く分かりませんでした。古いけど、新しい…、そんな感じでしょうか。中もきれいで、古典主義様式でしたが、そこまで派手でもなく、落ち着いていました。



《明治生命館・外部模型》



《明治生命館・内部》

～最後に～

ウォークラリーは院生の方が全てについて、説明や解説をして下さり、銀座と丸の内の建築、街の歩き方について詳しく知ることができました。次に友達や家族を連れてきたときには、詳しいことを説明出来たらいいなと思います。

導入ゼミが一通り終わり、後藤ゼミでは授業では体験出来ないような体験、工事現場見学、ショールーム見学など…、また、院生や4年生との交流もあってとても貴重な体験をすることが出来ました。そして導入ゼミではたくさんの知らない単語を聞きました。まだ建築学科に入ったばかりで、建築についても分からることだらけなので、これから勉強をして本を読み、建築について詳しく知っていきたいと強く思いました。

10n1010

磯野正明

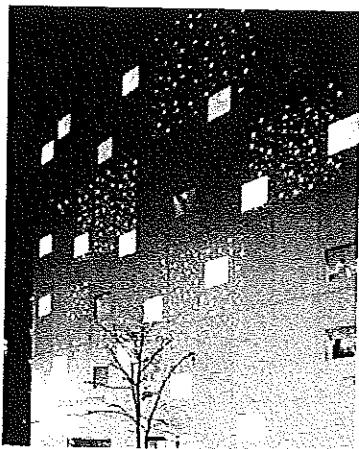
## ウォークラリーのレポート

前半の銀座コースではたくさんの有名ブランドの店舗や面白いデザインの交番などデザインが現代的な建物が多かった。銀座は街の景観を守るための条例の様なものがあり、建物の高さが5.6m未満でなくてはならなかったり色彩でいけないものがあったりすることで銀座の通りはとても統一感があり素晴らしいと思えた。

銀座にあったユニクロとマツモトキヨシは他の場所にある赤や黄色の店舗と違いそれぞれ、白を基調とした配色で銀座の通りでもあまり目立たない感じでいつも見ているものと違つて印象的だった。

また、LOUIS VUITTON GINZAは中でも印象的でガラス面とその背後の壁に市松模様がプリントされ、歩きながら見ると美しいモワレの現象を起こし、遠景ではさらに大きなパターンが現れるという、見に行ったときは残念ながら昼間でビルに四角い窓がたくさんランダムに見えるだけだったがそれでも十分すごいデザインだと思ったが、TAの人に話を聞いたら夜のライトアップが綺麗らしく今度夜見に行ってみたいと思った。

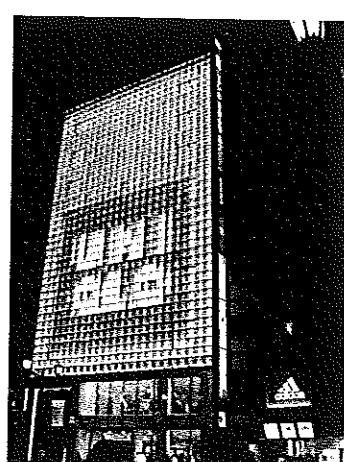
あとビルの中に植物があり、ガラスのシャッターを全開にすることによって、ファサード全体が多様な緑に彩られた都市の庭に変貌するという点でニコラス・G・ハイエック・センターも銀座の通りの中で際立っているようだった。



LOUIS VUITTON GINZA



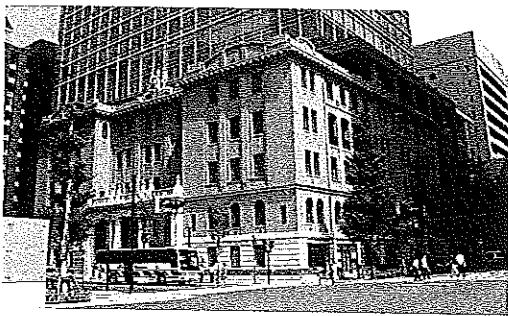
ニコラス・G・ハイエック・センター



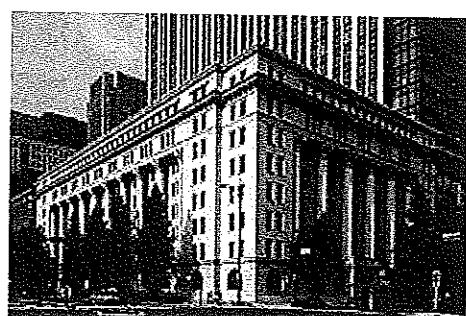
ユニクロ・銀座店

後半の丸の内コースは保存建築が多くあり銀座とは打って変わって少し古い感じの建物も多くあったが、昔からあったすごい建築に新しくモダンなものを増築している建築物がとても印象的だった。中でも

日本工業俱楽部会館は1920年に建築されたものを保存再生させながら高層オフィスを増築し保存部分と対比調和するためにタワー部分の外層は単純な表現に抑え、ガラスを基調としたデザインとなっているらしく、建物の下のほうと上のほうの違いがはっきりとしていて、かなりきれいに見えた。また、明治生命館も新たに作られた30階建ての明治安田生命ビルという現代的な建物と合わさった感じがとても印象的でよかったですし、明治生命館の外側にある柱のデザインがかなり凝ったものになっていてすごかった。こここの天井はガラスになっており中から上を見上げると明治安田生命ビルが見えるようになっていて驚いた。



日本工業俱楽部会館



明治生命館

今回のウォークラリーでは現代的な建築の銀座と保存建築の丸の内を一日かつ先輩の分かりやすい説明つきで見ることができそれぞれの違いを比べることができてとてもいい勉強になった。